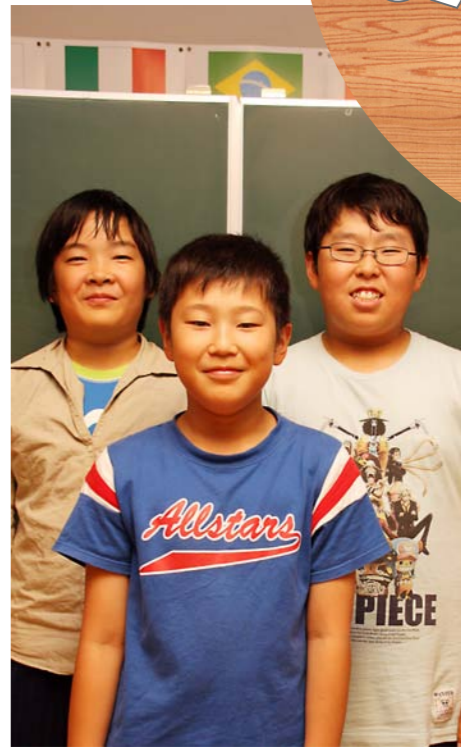


# みんなの ひろば

「子ども国会」に北海道代表として参加  
木村智哉くん、中村駿介くん、  
尾田叡郁くん  
世界中の人たちときずなを深めたい



7月29日、30日の両日、国会議事堂で12年ぶりに開催された『子ども国会』（主催：参議院）。この会議に北海道代表として参加した共栄小学校の木村智哉くん（6年写真左）、中村駿介くん（6年写真右）、尾田叡郁くん（5年写真中央）の3名。

木村くんは「みんなで一緒に行くことができると先生に言われ、貴重な経験になると思ったので、参加を決めました」ときっかけを教えてくださいました。

子ども国会は、これからの社会を担う子どもたちの代表150名が全国から集結し、その貴重な意見や提言を参議院の活動に生かすという趣旨で開催されており、今回は「東日本大震災からの復興と私たちの未来」をテーマに開会。3部会あるうちの「家族、友だちとのきずな」の部会に参加した尾田くんは、「全国のいろんな地域の人たちと意見を出し合せて、考えを一つにまとめていくことは難しかったです」と感想を話します。

「国会議事堂はテレビで見るとより大きかったです。国立国会図書館で昔の本をたくさん見学することもできました、思い出がたくさんあります」と国会議事堂の大きさに驚いたという中村くん。

子ども国会に参加した児童について清水校長は「違う考え方を持つ子どもたちの話を聞くことで、物事を広い視野で考える良い機会になったと思いますし、全国の人たちの前で自分の意見を発表できたということを自信につなげてくれれば」と期待を込める。

3名の児童は「子ども国会で学んだことを生かし、あいさつ運動をがんばって取り組みたいですし、ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける運動に参加したいです。家族だけではなく、世界中の人たちと支えあい、きずなを深めていきたいです」と今後の目標について話してくれた。

クローズアップ  
まちのひと

## フレッシュトーク

社会人として自立し、仕事のできる人に

ホテル日の出岬営業部勤務 館口 凌 さん



「地元が一番落ち着ける場所。ここで一生過ごしたいと思うています」と話すのは、4月から社会人になった館口凌さん（18歳）。雄武高等学校を卒業後、地元での就職を希望し、ホテル日の出岬に就職。研修期間を経て、現在はフロント業務を担当する。「人と触れ合うことが好きで、高校生の時にアルバイトを経験し、接客業の楽しさを知りました。ホテルのフロント業務はお客様と接する機会が多い仕事です。お客様から声をかけていただけると嬉しいですし、自分がかつた接客の仕事をする事ができて本当に幸せです。就

職することに不安を感じていましたが、先輩方がとても親切に指導してくださるので、自分は本当に恵まれていると思います」と笑顔を見せる。

今後の目標について「今は細かいミスが多く、一人ではできないことばかりですが、社会人として自立し、仕事のできる人間になりたいです。小さいころから見てきた働く父の姿が憧れでもあり目標です。父のように信頼される人物になりたいですね」と話してくれた。

◆趣味 音楽鑑賞、熱帯魚観賞  
◆性格 明るく、元気がモットー

## 小さな美術館

沢木小学校



↑「ノコギリクワガタ」



山崎 杏楓くん(3年)



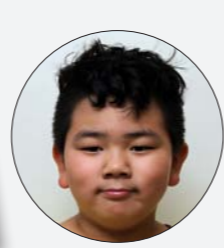
↑「夏休みの思い出」



竹田 純菜さん(1年)



↑「海へ行ったよ」



村上 凜くん(3年)



→「習字『読む』」



村上真梁斗くん(5年)

## わんぱくキッズ

おおきくなったら  
～若草保育所～



たかた  
りゅうのすけくん

サッカー選手



はなまつ  
あきなちゃん

学校の先生



こぼやし  
いつきくん

仮面ライダー  
ウィザード